

社会福祉学部 社会福祉学科 専門教育科目表

2016 年度生用

(注) ◎必修科目 ○選択科目 ▽前学期又は後学期に開講

系列	授業科目	学期	単位	必・選	年次	担当教員	備考 (卒業所要単位数)		
基幹科目	社会福祉の考え方	前	2	◎	1	端 田	必修		
	現代社会と福祉Ⅰ	前	2	◎	2~	合 津	必修		
	現代社会と福祉Ⅱ	後	2	◎	2~	合 津	必修		
	コミュニティ論	前	2	○	1~	安 井	6 単位選択必修		
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	前	2	○	1~	端 田			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	後	2	○	1~	端 田			
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	前	2	○	2~	合 田			
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	後	2	○	2~	合 田			
	社会保障Ⅰ	前	2	○	3~	鈴 木			
	社会保障Ⅱ	後	2	○	3~	鈴 木			
ボランティア論	一	2	○	1~	休 講				
地域政策と地域づくり	後	2	○	1~	宮 下				
生活支援技術Ⅰ	後	2	○	2~	越 田				
基礎科目	相談援助の理論と方法Ⅰ	前	2	○	2~	端 田	8 単位選択必修		
	相談援助の理論と方法Ⅱ	後	2	○	2~	萱 津			
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	前	2	○	2~	越 田			
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	後	2	○	2~	越 田			
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	前	2	○	2~	川 島			
	低所得者に対する支援と生活保護制度	後	2	○	2~	鈴 木			
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	後	2	○	2~	旭			
	社会福祉発達史A	後	2	○	2~	野 口(友)			
	社会福祉発達史B	後	2	○	2~	野 口(友)			
	社会福祉発達史C	一	2	○	3~	休 講			
	地域ケア論	前	2	○	2~	岡 田			
	福祉用具の知識	前	2	○	2~	伊 藤			
	精神疾患とその治療Ⅰ	前	2	○	2~	上鹿渡			
	精神疾患とその治療Ⅱ	後	2	○	2~	上鹿渡			
	精神保健の課題と支援Ⅰ	前	2	○	2~	上鹿渡			
	精神保健の課題と支援Ⅱ	後	2	○	2~	上鹿渡			
	精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	後	2	○	2~	片 山			
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	前	2	○	2~	三 井			
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	後	2	○	2~	三 井			
	精神障害者の生活支援システム	前	2	○	2~	片 山			
	発達心理学	前	2	○	2~	芹 澤			
	集団心理学	後	2	○	1~	遠 藤			
	心理統計学	後	2	○	1~	遠 藤			
	心理学研究法	前	2	○	2~	稲 木			
	心理検査法入門	後	2	○	2~	野 川			
	発達診断の理論と方法	後	2	○	2~	高 木			
	知的障害者の心理・生理・病理	前	2	○	2~	高木・上鹿渡			
	肢体不自由者の心理・生理・病理	前	2	○	2~	宮 地			
	病弱者の心理・生理・病理	前	2	○	2~	中島・上鹿渡			
	人体構造及び日常生活行動に関する理解	前	2	○	2~	上鹿渡・樋口・庄内			
	加齢及び障害に関する理解	後	2	○	2~	中島・遠藤・伊藤・ 杉浦・萱津・上平			
	保育学	前	2	○	2~	担当教員			
	社会的養護	前	2	○	2~	川 島			
	社会的養護内容	後	2	○	2~	川 島			
	介護概論	前	4	○	2~	越 田			
	展開科目	相談援助の理論と方法Ⅲ	前	2	○	3~		端 田	8 単位選択必修
		相談援助の理論と方法Ⅳ	後	2	○	3~		端 田	
		福祉行財政と福祉計画	後	2	○	3~		野 村	
		福祉サービスの組織と経営	後	2	○	3~		萱 津	
		保健医療サービス	前	2	○	3~		山 田	
就労支援サービス		前	1	○	3~	片 山			
更生保護制度		前	1	○	3~	端 田			
権利擁護と成年後見制度		前	2	○	3~	合 田			
生活支援技術Ⅱ		前	2	○	3~	越 田			
地域ケア実践論		後	2	○	2~	担当教員			
福祉住環境論		後	2	○	2~	担当教員			
福祉コミュニケーション論		後	2	○	2~	伊 藤			
情報バリアフリー論		後	2	○	3~	伊 藤			
医療ソーシャルワーク論		後	2	○	2~	三 沢			
リハビリテーション論		前	2	○	2~	伊 藤			
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		前	2	○	2~	塩 津			
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		後	2	○	3~	塩 津			
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		前	2	○	4	塩 山			
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		後	2	○	4	片 山			

教養科目及び専門教育科目から50単位選択(外国人留学生は46単位選択)

全系列から2単位選択

系列	授業科目	学期	単位	必・選	年次	担当教員	備考(卒業所要単位数)
展開科目	心理検査法	後	2	○	3~	野 川	8 単位選択必修
	カウンセリング	後	4	○	3~	山 本	
	臨床心理学	前	4	○	3~	野 川	
	社会心理学	前	4	○	3~	遠 藤	
	児童精神医学	後	2	○	2~	上鹿渡	
	自立活動の理論と実際(隔年開講)	後	2	○	2~	丹野・高木	
	視覚障害教育総論	前	2	○	3~	神 尾	
	聴覚・言語障害教育総論	前	2	○	3~	高 木	
	重複障害・LD 等教育総論	後	2	○	3~	櫻井・杉浦	
	子どもの保健(隔年開講)	一	2	○	2~	休 講	
	子どもの食と栄養(隔年開講)	前	2	○	2~	倉 沢	
	保育技能(造形)	一	2	○	2~	休 講	
	保育技能(音楽)	前	2	○	2~	平 澤	
	保育技能(言語)	前	2	○	2~	長 田	
演習・実習科目	社会福祉基礎実習指導	前	1	○	2~	伊藤・森田・合田・越田・塩津・丹野	8 単位選択必修
	社会福祉基礎実習	前	1	○	2~		
	相談援助実習指導Ⅰ	後	1	○	2~	細田・中島・野口(仮)・伊藤・塩津・合田	
	相談援助実習指導Ⅱ	前	1	○	3~	鈴木・旭・萱津・川島・中島・森田・合田	
	相談援助実習指導Ⅲ	後	1	○	3~		
	相談援助実習指導Ⅳ	前	1	○	4	旭・萱津・鈴木・中島・森田・川島	
	相談援助演習Ⅰ	後	1	○	2~	森田・萱津・小林・塩津・野口(仮)・野村	
	相談援助演習Ⅱ	前	1	○	3~	森田・角田・萱津・合田・合津・小林・塩津・鈴木・野村・端田・山田	
	相談援助演習Ⅲ	前	1	○	3~		
	相談援助演習Ⅳ	後	1	○	3~	片山・角田・合田・小林・鈴木・合津・塩津・野口	
	相談援助演習Ⅴ	前後	1	○	4	合津・野村 合津	
	相談援助実習	▽	4	○	3~	鈴木・旭・萱津・川島・中島・森田・合田	
	相談援助応用実習	▽	2	○	4	担当教員	
	相談援助応用実習指導	▽	1	○	4	担当教員	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	▽	1	○	3~		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	▽	1	○	3~	片山・端田・塩津	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	▽	1	○	4		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅳ	一	1	○	4	休 講	
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	前	1	○	3~	片山・杉田・塩津	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	前	1	○	4	片山・塩津	
	精神保健福祉援助実習Ⅰ	後	2	○	3~	片山・端田・塩津	
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	前	3	○	3~		
	心理学基礎実験Ⅰ	前	2	○	2~	遠藤・稲木・谷田	
心理学基礎実験Ⅱ	後	2	○	2~	稲木・遠藤・谷田		
インターンシップⅠ・Ⅱ	通	4	○	3~	久保木・吉村・松下・高橋(健)・前川・京谷・京谷・片山		
総合研究科目	社会福祉特別講義 A	前	2	○	2~	川 島	計 38 単位
	社会福祉特別講義 B	一	2	○	2~	休 講	
	社会福祉特別講義 C	後	2	○	4	端 田	
	社会福祉特別講義 D	後	2	○	2~	川島・中島	
	社会福祉特別講義 E	前	2	○	2~	中島・川島	
	専門ゼミナール(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)	通	4	○	3~	旭・伊藤・稲木・遠藤・越田・高木・早坂・端田・中島・鈴木・森重・中村・川島・布山・杉浦・上鹿渡・丹野・塩津・合田	
	卒業研究と論文	通	8	○	4	担当教員	
専門教育科目 最低必要単位				必修 選択必修 選 択	6 単位 30 単位 2 単位		計 38 単位

教養科目及び専門教育科目から 50 単位選択(外国人留学生は 46 単位選択)

全系列から 2 単位選択

2016 年度生 卒業所要単位数 ※()内は外国人留学生の卒業所要単位数	教養科目	36 (40)	50 (46)	合計 124 (124)
	専門教育科目	38 (38)		

※本専門教育科目表に記載されていない他学部の専門科目も、24 単位まで卒業単位として算入できる。この場合の履修登録の方法は 23 頁を参照。